

くつろぎタイム

娘たちと過ごす時間が一番のくつろぎタイム。支えてくれる妻や仲間がいるからこそ仕事にも打ち込めています。

仙台商工会議所青年部 会長
株式会社百反 代表取締役社長

いわもと ふじき
岩本 富貴 氏

昭和52年(1977年)4月6日生まれ
仙台市出身
血液型O型



大学1年生のときから祖父が設立した(株)百反の社員となり、勉学と並行して仕事を担う。4年生のときには新店舗の立ち上げを1から経験。大学卒業後は宮城県内にある各店舗のマネジメント業務に奔走し、現在は本社業務、不動産事業にも取り組む。今年4月から仙台商工会議所青年部会長を務めるとともに、本業でも代表取締役社長に就任。好きな言葉は『諸悪の根源は己にあり』と、『他人と比較するな、自分の過去と比較しろ。』うまくいかないとき、『まず、その理由は自分の中にある』と思つて次の一手を考えなさい』という意味ととらえています』と語る。3歳と1歳になる娘の良き父親でもある。

お休みの日は、ご家族で過ごす時間を大切にしている」と伺いましたが。

平成30年度は、仙台商工会議所青年部(以下、仙台YEG)の一員として日本商工会議所青年部に出向していましたが、毎月県外に足を運ぶことが多く、なかなか家族との時間を確保できませんでした。いまは仙台にいる時間も多くなりましたので、なるべく妻や子どものリクエストに応えるようにしています。私自身は特にどこに行きたいとか、何を食べたいとかという欲がありませんので、家族が喜んでくれることを第一に、家族サービスをしています。

家では、娘をお風呂に入れるのが私の仕事といえますか、習慣になっています。夜に青年部の会議がある日でも可能な限り一度自宅に戻ってお風呂タイムを過ごし、その後で出掛けるといった流れです。さらに言うと、会議の後の懇親会が終わってから、帰宅して寝ている子どもたちを無理やり起こし、妻にしかられるところまでがワンサイクルになっています(笑)。しかし、娘と過ごす時間は本当に楽しくてやめられません。一緒にいると疲れも吹き飛びますね。

ストレスがたまるとは、ないのですか。

ストレスはそんなにたまらないですね。私自身、取り立ててプラス思考というわけではないと思うのですが、何かに行き詰まったとき、基本的には、どうすれば先に進むことができるかを優先して考えるようにしていますので、自然と前向きになります。

それと妻の存在があります。私は、妻に、仕事のこと、家族のこと、自分のことなどすべて話しているのですが、妻は、仕事のことはもちろん、仙台YEGの活動についても理解し、応援してくれているので、それが自身の安心につながっているのだと思います。YEGの仲間にもさまざまな面でサポートしてもらっていますので、それとても大きいと思いますね。

食事や運動など、率先して行っている健康管理法があったら教えてください。

特にこれというものはありませんが、食べ物の好き嫌いはありません。スポーツはゴルフが好きで、誘われればという程度ですがたまに行っています。練習はあまりしませんが、中学・高校とバスケットボールに打ち込んでいて体を動かしてきたからでしょうか、一緒に走る方に迷惑をかけない程度のスコアではラウンドできています。上達するよりも、一緒に回る方々と過ごす時間を楽しんでいるといったところですね。

体重は学生時代からほとんど変わっていませんが、最近では、年齢を考えて体形を維持するためのウエイトコントロールに気を使っています。食べ過ぎたり、飲み過ぎたりしたときは、ひたすら鶏肉を摂取するなど摂生に努めます。



平成30年度の締めくくりとして、仙台YEG総務渉外委員会のメンバーと撮影した1枚。写真中央右が岩本氏。撮影：(株)FFC(仙台YEGメンバー)

す(笑)。野菜もよく食べますよ。あとは、軽くランニングやウォーキングもしますね。今年度は何かと忙しくなり外食の機会も増えると思います。お酒は、家では一滴も飲みませんが、外では人一倍飲む方ですので、これまでに健康には十分に気をつけたいと思っています。

今年度の仙台YEGの取り組みや、意気込みについて教えてください。

私は仙台YEG設立年度から入会しており、これまでこの会を盛り上げてくださった先輩方もよく存じ上げています。その先輩方が築き上げてきた歴史をしっかりとつないでいきたいという思いと、現役メンバーやこれから入会される仲間とともに成長したいという思いで、今年度のスローガンを立てました。それが「STRONG! 仙台YEG」会員メリットを追求し、所属価値を高めることです。今年度は元号が変わり新しい時代に入っていく年でもありますので、何のためにYEG活動をしているのかをもう一度見つめ直し、地域で発信力や行動力をもっと強く打ち出していきたいような団体に成長していきたいと思っています。

そのために必要なのは、まず、メンバーがYEG活動を通して多くのメリットを享受することです。それによって所属価値が高まり、自然にメン

バーも増えていくと思っています。私は「数は力である」と思っていますから、数と質、両面において強い組織となり、親会である仙台商工会議所に対しても、しっかりと自分たちの意見を伝えていこうと考えています。

仙台YEGは45歳で卒業となりますが、私は、卒業後も商工会議所を良い意味で「使い倒していく」ようにならなければ、YEGで活動するメリットがないと思っています。そうして本業をしっかりと成長させながら、地域を盛り上げるべき人たちが一体となって大きな力を発揮していくのが良いと思っています。実は今年、仙台YEGでニューヨークに行く計画を立てています。この海外視察は、ニューヨークという大都会を歩くことで、そこにしかないものを体感し、現地でのさまざまなビジネス交流も含め大いに刺激を受けようというのが目的です。もちろん、時間も費用もかかりますし、メンバーが長いこと会社を離れると業務に影響が出る場面もあるかもしれません。しかし、それでも会社が大丈夫な状態にしておくことも、経営者としては必要ではないかと思えますので、このような準備・訓練も含めて、メンバーとともに挑戦してみたいと思っています。

仙台YEGは1年間を通してさまざまな事業に取り組んでいきます。ご興味のある方はぜひご入会いただき、45歳までの限られた時間、我々と一緒に活動いたしましょう!

より良い環境をめざす。

青葉環境保全 **AOBA**

〒984-0037 仙台市若林区蒲町19-1 TEL 022(286)3161(代)

